

## 京都市グリーンボンドへの投資について

学校法人京都成安学園（理事長 小林 徹）は、このたび、京都市が発行するグリーンボンド（京都市令和5年度グリーンボンド5年公募公債）に投資したことをお知らせいたします。グリーンボンドとは、地方自治体や企業等が、国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達するために発行する債券のことを言います。

本法人発祥の地である京都市では、環境先進都市・京都として「2050年二酸化炭素排出量正味ゼロ」への変革を成長戦略とし、国内外のESG（Environment[環境]、Social[社会]、Governance[ガバナンス・企業統治]）を考慮した投資活動や経営・事業活動のことで、投融資を呼び込み、SDGsに寄与する新たなビジネスを成長産業として支援する「ESG投融資を呼び込むプロジェクト」に取り組んでおられます。

また、「京都市地球温暖化対策計画」において、環境と経済の好循環を生み出す仕組みづくりとして、ESG金融やグリーンボンドの活用拡大など、グリーンファイナンスを推進しておられます。

なお、この債券の充当事業（資金の使途）は、次のとおりです。

	対象事業	想定される環境改善効果
1	省エネ改修事業（施設のLED化）	エネルギー使用量削減によるCO2排出量削減
2	環境性能に優れた市有施設の整備事業	再生可能エネルギー導入量の増加など
3	河川整備事業	浸水被害の防止など、気候変動への適応
4	緑化推進事業	緑地面積の拡大による環境保全、雨水流出の抑制など、気候変動への適応

本法人はこれからも、公益性・公共性の観点から持続可能な社会の実現に貢献すべく、本債権への投資をはじめとして、ESG領域における投資を一層推進してまいります。

### 本債権の概要

発行銘柄	京都市令和5年度グリーンボンド5年公募公債
発行日	令和6年1月26日
発行額	70億円
償還期限・方法	5年（満期一括償還）

令和6年1月  
学校法人京都成安学園

※本文の一部並びに表について、京都市のホームページより引用しました。